

風水害の備えは できていますか？



問 河川課（5階、☎561・2397、FAX 561・2487）

昨年発生した令和元年東日本台風（台風19号）は、関東・東北地方の広範囲にわたり、河川のはん濫やがけ崩れの発生など、各地で甚大な被害をもたらしました。
風水害は、いつ、どこで、どのように起こるか分かりませんが、自分のまちでどのような危険があるのか、避難所はどこにあるのかなど、事前に把握していれば、被害を軽減することができます。
日ごろから風水害に備えておくことが大切です。



風水害に備えて

①日ごろから準備しましょう

- ・洪水・内水ハザードマップなどを活用して、周辺の状況を確認しておきましょう。
- ・避難場所、避難方法などを家族で確認しておきましょう。
- ・避難経路を歩いてみましょう。
- ・非常時の持出品を必要最小限にして準備をしましょう。
- ・風水害に備えて、家の中や家の周りを点検しましょう。

②いざ避難が必要になったときは…

雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示などに関する情報を入手しましょう。

インターネット	滋賀県土木情報システム	
	滋賀県土木防災情報システム 検索	
雨量情報	XRAIN GIS版	
	XRAIN GIS版 検索	
テレビ	NHKの地デジdボタン	災害情報メール登録はこちら
ラジオ	えふえむ草津（FM78.5MHz）	
メール配信	市の登録制災害情報メール ✉ kusatsu-touroku@sg-m.jpへ 空メールを送信し、登録手続き	
屋外スピーカー	市内一斉緊急放送システム フリーダイヤル 0120-119-932（自動応答）で再確認できます	

③避難時の注意事項

- ・避難の呼びかけに注意し、正確な情報収集をしましょう。
- ・早めの避難を心がけましょう。
- ・車での避難はさけ、歩いて避難しましょう。
- ・動きやすい服装で、荷物は最小限にしましょう。
- ・逃げ遅れたら、高いところに移動し、救助を待ちましょう。
- ・危険な場所はさけて、安全なルートで避難しましょう。

④大雨・洪水時の注意事項

- ・足元に注意しましょう。
- ・集団で、はぐれないように避難しましょう。
- ・子どもや高齢者に配慮しましょう。
- ・夜間の避難は注意しましょう。

洪水発生時の 緊急避難場所を確認

洪水発生時に逃げ遅れた場合は、近隣の高いところに避難し、安全な場所と空間を確保する「垂直避難」が基本です。このような時の避難場所を確保する目的で、「浸水時における緊急時避難協力施設としての一時使用に関する協定」を、施設所有者、地域のまちづくり協議会、町内会と草津市で締結しています。この標識を目印に、緊急避難できる場所を確認しましょう。



避難協力施設の標識

緊急時避難協力施設

（3月31日時点）

- 1 エルティ932
- 2 ホテルボストンプラザ草津
- 3 クサツエストピアホテル
- 4 アーバンホテル草津
- 5 (株)近鉄百貨店草津店
- 6 エイスクエア、
- 7 デイオワールド草津店、
- 8 アル・プラザ草津
- 9 草津第一ホテル
- 10 HOTEL 21
- 11 ビジネスホテルHIBARI
- 12 帝産湖南交通(株)
- 13 南草津駅自転車自動車駐車場
- 14 アーバンホテル南草津
- 15 びわこの千松
- 16 フレンドマーケット志津東草津店
- 17 無量壽寺
- 18 西方寺

※避難協力施設を募集しています。
詳しくは、河川課までお問い合わせください



草津市洪水・内水ハザードマップ

豪雨のときに予想される浸水の危険性やその深さ、避難経路、避難場所などを確認できる地図です。

浸水の深さを確認しよう

マップでは、100年に1回想定される雨（1時間に109mm）の浸水範囲を5色に色分けし、浸水の深さを示しています。雨の降り方や土地利用の状況から、予想される浸水範囲以外の箇所でも浸水する可能性があります。

自分の家は浸水する可能性があるのか、浸水時の深さはどのくらいなのかなどを知り、避難場所までの安全な避難経路を、家族で話し合しましょう。



※河川課や市民交流プラザ、各地域まちづくりセンターの窓口にも置いています。市ホームページには、各学区・地区別マップや、外国語版ハザードマップも掲載していますので、ぜひご活用ください。